



鵜殿運動場 テニスコートの改修

令和7年度に改修が完了した鵜殿運動場のテニスコート。安全で快適に利用できるよう整備されました。



芸能発表会

町文化協会は音楽や舞踊など、芸能を愛する方々の日ごろの練習成果を披露する「芸能発表会」等を開催しています。



サイエンススクール

さまざまな実験を通して、科学の不思議さにふれ、親しみを持ってもらえるようにサイエンススクールを開催しています。



中能登町との スポーツ交流

令和7年度は姉妹町である中能登町が本町を来訪。剣道による交流を行い、技術向上と親睦を深めました。

し、また中能登町の先進的な学校教育の実践を学ぶことや中能登町の認定保育園を訪問することで、紀宝町の幼児教育から小学校教育への接続期における架け橋プログラムの参考とさせていただきます。両町教職員の相互理解と友好を深めてまいりました。



令和8年度
所信表明
KIHOTOWN

令和8年度におきましても教職員交流を継続し、町内小中学校の教育活動の更なる質的向上と、授業改善活動の推進へとつなげてまいります。

保幼小連携事業

保幼小連携事業につきましては、令和8年度より、「保幼小「架け橋プログラム」に係る幼児教育推進コーディネーター」を配置し、子どもたちが環境の変化に戸惑うことなく安心して一貫した教育を受けられる体制を整え、幼児教育の充実及び保幼小接続期の教育の質を向上させるための体制を構築し、「架け橋期」の教育の質の向上に努めてまいります。

学校施設の改修

学校施設の改善につきましては、令和8年度において井田小学校の校舎及び体育館の照明器具LED化改修工事を実施するなど、計画的に教育環境の整備を進めてまいります。

預かり保育

長期休業中も含め午後6時まで実施している幼稚園における預かり保育につきましては、引き続き、幼児を取り巻く生活環境の変化に対応し、さらなる子育て支援の充実に取り組みまいります。

生涯学習事業

生涯学習事業につきましては、子どもから高齢者まであらゆる世代が参加できる講座やイベントを開催するため、「まなびの学級」や「町文化協会」、「町公民館連絡協議会」、「町青少年育成町民会議」、「学校支援本部元氣キッズ」、「まなびボランチ」等と連携し、「生涯学習センター」「まなびの郷」を拠点とした生涯学習の居場所づくりの充実を図ってまいります。

図書館事業

図書館事業につきましては、地域の方々をはじめと

スポーツ交流事業

スポーツ交流事業につきましては、平成26年度から、町スポーツ協会、スポーツ少年団関係者、小中学生、保護者等が相互に両町を訪問し合い交流を深めるなかで、競技力の向上を図るとともに、友好と親睦を深めております。令和7年度は中能登町が紀宝町を来訪し、「剣道」での交流を通して相互の技術向上と親睦を深めました。令和8年度におきましても、町スポーツ協会、スポーツ少年団指導者等と協議・調整を図り、幅広いスポーツ分野において交流

校内教育支援センター

矢淵中学校内に設置いたしました「紀宝町立学校における校内教育支援センター」では、不登校及びいじめ防止対策として、児童・生徒一人ひとりの状況に応じた学習環境等を整備し、「誰一人取り残されない学びの保障」に向けた取り組みの充実を進め、令和7年度は延べ500人を超える相談がありました。

外国語教育

ALITを活用した英語活動、外国語教育につきましては、幼少期から生きた英語に触れることを目的に、3人のALITを雇用し、小中学校はもとより、幼稚園におきましても、積極的に英語活動の充実に向けて取り組んでまいります。

を深め、相互の協力の絆を高めていき、共にスポーツ振興の発展に努めてまいります。

「放課後サポートスクール」につきましては、各小学校において、放課後の自主学習に取り組む場を設定することにより、子どもたちの安全・安心な居場所を確保するとともに、自主的な学習習慣の定着を目指し、今後も継続して開催いたします。

学習支援

さらに、「サマースクール」等を開催することにより、児童が自主的、主体的に学習に取り組む姿勢の育成と、個に応じた学習支援を行ってまいります。

学校運営協議会

学校と地域、保護者との連携につきましては、各小・中学校区に設置されました「学校運営協議会」制度を活用し、ともに連携・協働するなかで、子どもたちの豊かな成長を支える、「地域とともに

学校運営協議会

し、様々なジャンルの講師による講座等を開催することにより、地域の幅広い世代にご利用いただいております。

他自治体との連携・交流

他自治体との連携・交流につきましては、姉妹町であります石川県中能登町及び物産を中心とした地域間連携を行っております青森県藤崎町とは、今後も両町のイベント等において、官民ともに交流を深め、相互に協力し、両町の発展につなげてまいります。

検定チャレンジ補助事業

令和6年度から新規に取り組みを始めた「検定チャレンジ補助事業」につきましては、子どもたちのさらなる

検定チャレンジ補助事業

今後は、本答申を基に、町教育委員会会議でご審議いただき、子どもの安全・安心を第一に考えた活力あるより一層充実した教育環境の実現に向けて、準備・整備を進めてまいります。

ある学校」づくりを引き続き進めてまいります。

紀宝町立学校の適正規模・適正配置につきましては、令和7年度に同検討委員会において、極小規模校の保護者及び学校運営協議会への説明会を全9回開催し、また、ウェブ上でアンケートを行うなど、全保護者の意見や提案を基に協議を重ねていただき、「5年後（令和12年）を目的に町内の学校を再編成する」との内容が盛り込まれた基本方針が実施計画等が教育長に答申されました。

検定チャレンジ補助事業

今後は、本答申を基に、町教育委員会会議でご審議いただき、子どもの安全・安心を第一に考えた活力あるより一層充実した教育環境の実現に向けて、準備・整備を進めてまいります。

※令和8年度当初予算は、来月号の広報きほうで紹介いたします。